

アトピーの悪化、発熱、浸出液、体重減少により

松本医院を受診された方の手記。

「松本医院様に出会って（アトピー手記）」

栢原二六松 75 歳

2016年5月14日

10年くらい前に、アトピー皮膚炎になり、体が痒くて、夜もぐっすり眠れなくなり、掻きむしり手足がボロボロになり、体から粉が出るようになりました。病院に行き、飲み薬とステロイドの塗り薬をもらいそれを付けても良くなり、3軒病院を変えてみるも、悪くなるばかりで、体中傷つき始めました。

4軒目の病院の皮膚科は、塗り薬をたっぷり付けて頂き、すごく良くなりぐっすり眠ることができてすごい先生に出会えたと思いました。これで助かったと思いました。でもまた体中ボロボロになって、痒くもなってきたので、飲み薬が悪いのかと思い、飲み薬を止めましたが変わりませんでした。次に塗り薬も止めでも良くなり、4軒目の先生に相談すると、塗り薬の塗る量が少ないからだと言われ、先生が「付けてあげる」と言われ、手袋をして、木のコテで塗り薬をたっぷり付けて包帯をして下さいました。これ以上は薬を出せないと言われるほど、めいっばい薬を出して下さいました。今度は、手足の皮膚が、5cmくらいアカ切れのように割れ始めました。手が固くなり、朝起きて自分の手をマッサージしないことには、施術が出来なくなり、体がなんとなくだるいと思ったら、熱が上がり、朝の体温は37度で、昼からは38～39度まで上がり始める毎日でした。熱も出るため、隣の市の総合病院に行き、毎日点滴を3時間掛りで行いましたが、2週間しても変わらず、内科、外科、皮膚科と診てもらっても原因が分からず、最後に整形外科の先生が、「私が必ず原因を見つけさせてあげる。もし分からなかったら、金沢大学病院を紹介してあげる。立派な先生が多くいるから、心配するな。」と言われました。血液検査をし、結果を聞きに行きました。すると先生が、「いや申し訳ないが何も分からない。大きいことを言ってすまない。金沢大学病院に行っても検査方法は同じだから、原因は分からないと思う。ただ一つ思うことがある。免疫が下がっているように私は思う。」と一言言われました。

熱を下げるのに、薬を1日3回飲みました。すると、体温が35度になっていきました。今度は頭の皮膚が傷つき液が出て、理髪店の方もびっくりし、「散

髪するのは無理。早く病院に行け。」と言われました。昔母親に、頭から汁が出て、そのうちに腐って死んでいった人が多くいた、と聞いたことがあったな、と思い出しました。正直、自分はもうおしまいかと思いました。それから、もう病院では無理だと思いました。免疫力を上げなければと思いました。体はますます悪くなり、顔は青々しくなり、7kg痩せました。

その後、体が、きれいになって、熱も下がり、元気になって良かったと喜びました。しかし、目を開けたら、その喜びは夢の中の出来事でした。何も変わらぬ現実に引き戻されました。そして、その後ふと以前、カラオケを歌いにお店に行った時に、アトピーで顔を見るのが申し訳なく思う人が次に会った時に、きれいに治っていたと聞いたことを思い出しました。そこでその店に向かい、その方が次に来たら知らせてもらうようお願いをしました。運良く、その3日後にその人と連絡を取ることができました。

その時、教えていただいたのが、松本医院でした。土曜日にも診てもらえることを聞き、早速富山県から、大阪府高槻に向かいました。先生は、ボロボロになっていた私の手を、素手で握り、しっかりと握手をしてくださいました。これで生きてゆけると思いました。4時間かけて大阪に来て良かったと思えました。先生と出会うことができ、人生が変わりました。先生に「日本一の先生ですね。」と言ったら、「世界一だよ。」と言われました。1年くらいかかりましたが、段々頭の傷も良くなり、手足の割れも無くなり、青白い顔も赤みが出て今、大変だったときのことを思うとゾッとします。その後会った、整体師の仲間に、お前はもうだめだと思ったと言われました。井ぶり飯を食べても、痩せていき、10kgほど落ち、ステロイド薬の恐ろしさに気づきました。

今思うと、病院の先生が悪いのではないのだと思います。今は病院にもお世話になったので感謝しています。ただ、病院では何も原因が分からなかったのに、松本先生は「ヘルペスが増えています。」と言われ免疫がすごく落ちていることをきちんと検査し、教えて下さいました。本当にありがとうございました。

今は、趣味として元気にカラオケ教室や、歌と踊りの会もできて、皆と楽しく歌を歌いながら仕事では整体店で、施術をしています。生き生きとした毎日を充実して過ごさせていただいております人生いろいろありますが、楽しい毎日が戻ってきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

2008年頃



現在

